

# ハヶ岳だより

川崎市ハヶ岳少年自然の家  
NO.55  
2016. 1. 25



新しい年を迎え早、半月が過ぎようとしています。今年もよろしくお願いたします。

昨年は5カ月間余り休館するという開所以来の事態が発生しました。

利用を楽しみにしていた市民の皆様には大変申し訳ございませんでした。

今後は今まで以上に利用者の安心安全を念頭に置き運営してまいります。

この冬はエルニーニョ現象の影響で非常に暖かい冬になっています。

未だハヶ岳では降雪は有りません。

おかげでとても過ごしやすい年越しにはなりましたが、1月6日より冬期中学校自然教室が始まりスキー場に関しては心配が続いています。

基本的にハヶ岳周辺の冬は降雪が少なく寒さが厳しい気候です。

その為、近隣のスキー場は人工降雪機で雪を作っていますが、この暖かさでは雪づくりが難しく綱渡りの状態です。

いずれいつもの寒さになると思いますが、夏のゲリラ豪雨や台風の特異発生など日本の四季が無くなってしまうのかと心配です。

雪が降らなければ空気が乾燥して風邪やインフルエンザも流行します。

自然の家では風邪などの予防の為、利用者の皆様にごまめな手洗いをお願いしています。

そのため、センターハウス食堂甲斐駒と食堂北岳の入り口に自動の水洗と洗剤を設置しました。

食堂に入る前など綺麗に手を洗って風邪などひかないようにしてください。

スキーにスノーシューと冬の楽しみが待っています。是非、ハヶ岳においでください。

自然の家所長 春山明裕

※ 原稿作成後に雪が降りました。

## 「暖冬とカマキリの卵」

今年ではエルニーニョ現象の影響で暖冬のようなようです。

厳しい寒さの日が少ないのはありがたいことですが、スキー場は雪不足によりオープンが遅れているところもあり困ったことです。

こういう年に限ってドカ雪に見舞われることもあり気が抜けません。

暖冬といってもあくまで平均気温のことで急な寒さに凍える日もあります。

気温の乱高下はいつの間にか体の負担になり、風邪をひきやすいなどかえって体調管理に気を使います。私の大好物の干し柿はカビ被害で品薄だそうです。

今年の暖冬は様々な面で生活に影響をもたらしています。

自然の家の花壇で地表近くにあるカマキリの卵を発見しました。

卵の位置が低いときは雪が少ないとの説があります。

別の場所では地表1m付近で見かけました。

虫たちもこの気象変化の激しさに戸惑っているのかもしれない。やはり寒くても冬は冬らしくあってほしいと、勝手なことを考えています。(K)



## 施設紹介 (食堂壁絵)

自然の家の食堂の1つ「甲斐駒食堂」の壁に、大きなイラストを設置しました。

カラフルな色で描かれたもので、食堂全体が明るくなった感じがします。

そんな壁の絵を見ながら食べる食事！

今まで以上に楽しくおいしく食事ができるのではと思います。

描かれている絵は、四季折々の八ヶ岳をイラストであらわしたのですが、ただ四季のイラストというだけではありません。

実は絵の中に文字が隠れています。その文字をつなげるとある言葉になりますので探してみてください。

自然の家を利用して食事をする際に、どんな絵なのかぜひ見てみてください！！



(ちよっとお薦の一冊)

「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」くさば よしみ 編

中川 学 イラスト

2012年にブラジルで開かれた国際会議で、当時のウルグアイ大統領だったホセ・ムヒカ氏が語った話をもとに作成された絵本です。

環境、地球の未来についてのその会議の中で、ムヒカ氏は現在地球上で何が問題なのか、幸福とはなにかということについて語っています。

国際会議というと専門的な難しい言葉ばかりと思われがちですが、この本はわかりやすい言葉で書かれています。

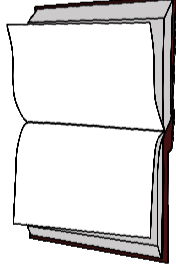
この本の抜粋を載せます。「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、かぎりが多く多くを必要とし、もつともつとほしがることである」(「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」汐文社 抜粋)

ムヒカ氏は、大統領だったときも町からはなれた農場で暮らしていて、

古びた愛車を自分で運転して、

大統領の仕事に向かっていたと

いうことです。



## 近隣紹介 【井戸尻考古館】

井戸尻考古館では、井戸尻遺跡(国指定史跡)をはじめとする富士町内の遺跡で発掘された石器や土器約2000点が公開されており、多くが縄文時代中期(約4000~5000年前)の資料です。

その中には重要文化財に指定されている藤内遺跡出土品や、長野県宝の水煙滴巻文深鉢などの優れた造形の土器も数多くあります。

井戸尻考古館ではこれらの資料をもとに、石器からは縄文時代すでに農耕が始まっていたのではないかとする縄文農耕論の検証、土器の文様からは縄文人の精神世界を読み解くことを展示の主軸としています。

いま井戸尻考古館一番の目玉は、何といっても坂上遺跡出土の土偶でしょう。

天を仰ぐように両手を広げ、

身体の細かな線刻の文様が

とても目を引きます。

自然の家に来たら、井戸

尻考古館に出かけてみてく

ださい。

学芸員の方がいるときは、

解説を聞くこともできます。



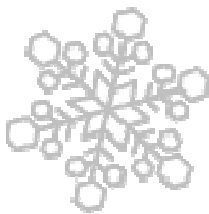
# 《主催事業のお知らせ》

川崎市八ヶ岳少年自然の家では、八ヶ岳の自然をいろいろな形で楽しんでいただきたく、平成28年度につきましても様々な主催事業を計画しています。



八ヶ岳近隣をトレッキングする「八ヶ岳ぐるっとハイキング」を始めとして、木など自然の素材を使ってもの作りをする「森の工作教室」等々、いろいろな主催事業を行う予定です！

詳細につきましては、自然の家のホームページにその都度掲載いたしますので、ご覧ください。



川崎市八ヶ岳少年自然の家  
〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原  
12067-482  
Tel 0266-66-2011  
Fax0266-66-2014  
ホームページでも情報をお伝えしています。  
<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>  
指定管理者 (一社)富士見町開発公社

～あとがき～

1月の半ばぐらいまで、暖冬の影響でまだ、敷地に雪が無い状態でした。

その後、雪が降り、急に周りが白くなりました。

雪が無かったときには、春に出てくるふきのとうがすでに出てきていたのですが、今は雪の中です。

例年とは違う様子ですが、この後どのような気候になるのでしょうか？(D)